

おまかせ クラウドストレージ 利用マニュアル

操作編（一般ユーザ） [ストレージサービス連携プラグイン for kintone]

このたびは本サービスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

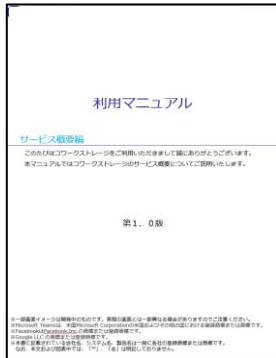
本マニュアルでは一般ユーザのストレージサービス連携プラグイン for kintoneに関する操作を説明します。

第1.0版

※一部画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは一部異なる場合がありますのでご注意ください。
※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

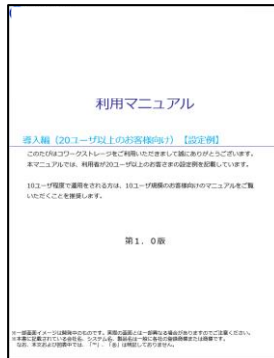
利用マニュアルについて

①：サービス概要



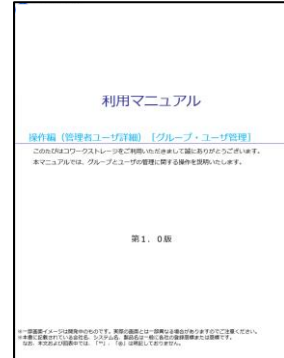
本サービスの
サービスの概要や特長を説明

②：導入編【設定例】



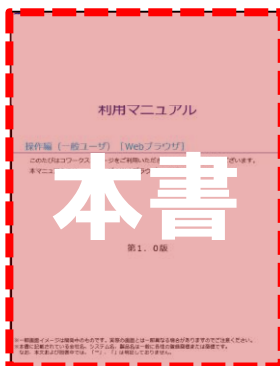
本サービスの初期設定を設定例
から説明

③：操作編 (管理者ユーザ詳細)



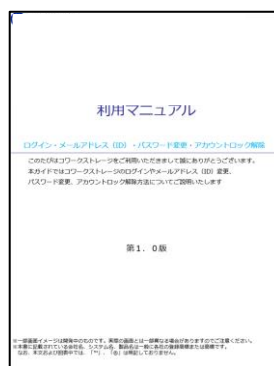
管理者権限を持つ利用者様向け
の操作説明

④：操作編 (一般ユーザ)



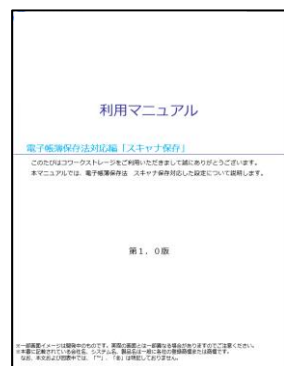
ユーザ向けの操作説明

⑤：ログイン・メールアドレス、パスワード変更、アカウントロック解除編



本サービスへのログイン、メー
ルアドレス・パスワード変更、
アカウントロック解除の操作説
明

⑥：電子帳簿保存法対応編



電子帳簿保存法に対応するため
の設定・操作方法を説明

改版履歴

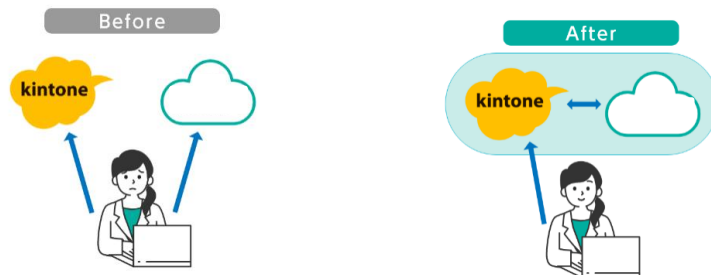
版	年月	改訂内容	改訂箇所
1.0版	2025年4月	初版作成	

目次

0. ストレージサービス連携プラグイン for kintoneについて	 4
1. ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのご利用開始	 5
2. ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種設定	 7
3. ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作	20

本サービスとサイボウズが提供する「kintone」または NTT東日本が提供する「kintone for おまかせはたラクサポート」等を連携するプラグインです。

「本サービス」と対象サービスの双方向からファイルの確認やアップロード等を行うことが可能です。



【Beforeの手順】

- ①「kintone」でデータ作成
- ②「おまかせクラウドストレージ」でフォルダ作成
- ③「おまかせクラウドストレージ」にファイル格納
- ④「kintone」データに「おまかせクラウドストレージ」のフォルダパスを記載

【Afterの手順】

- ①「kintone」でデータ作成
→自動で「おまかせクラウドストレージ」にフォルダ作成
- ②「kintone」内の「おまかせクラウドストレージ」フォルダへファイルを格納

！ 事前に

- ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをご利用いただくには、別途kintoneの契約が必要です。
- 「ストレージサービス連携プラグイン for kintone」の利用規約に同意の上本プラグインをご利用ください。
- 本書は、すでにkintoneをご利用いただいている方向けに作成しております。

！ ここに注意

- ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのログインで、回線認証は未対応です。
※「アクセス経路設定」が「回線認証のみ」の場合、ストレージサービス連携プラグイン for kintoneを使用できません。
- ストレージサービス連携プラグイン for kintoneは、kintoneモバイルアプリには未対応です。
モバイルで使用する場合は、ブラウザ版のkintoneにてご利用ください。
- 他プラグインとの併用は動作保証外です。
併用した際に発生した不具合についてはサポート外となります。
- ストレージサービス連携プラグイン for kintoneで利用可能な機能は下記の通りです。
 - ファイル操作：
 - ・アップロード
 - ・名前の変更
 - ・プレビュー
 - ・削除
 - ・移動
 - ・ストレージで対象ファイルを開く
 - フォルダ操作：
 - ・新規作成
 - ・名前の変更
 - ・移動

※機能の詳細については、「[3. ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作](#)」を参照ください。

！ ここに注意

- 以下画面はkintoneモバイル版で非対応となるため、初期設定はPCで実施してください。
 - ・ プラグインの追加するためのkintone管理画面
 - ・ プラグインをアプリに設定する画面

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをご利用開始するための手順について説明します。以下の順で実施してください。

- ・ ダウンロード
- ・ プラグイン設定

1. ダウンロード

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneをダウンロードします。

1. 以下ダウンロードサイトにアクセスします。

ダウンロードサイト

https://business.ntt-east.co.jp/support/storage/news/download_storageservice_for_kintone.pdf

2. ダウンロードサイト内にある利用規約を確認します。
※zipファイルダウンロード前に確認が必要です。

| ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのダウンロード

> [ストレージサービス連携プラグイン for kintone 利用規約](#) PDF

※本プラグインを利用する場合は、
「ストレージサービス連携プラグイン for kintone 利用規約」をご確認いただき、
同意いただく必要がございます。
zipファイルのダウンロード前に必ずご確認ください。

3. ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのzipファイル
「storageservice_for_kintone.zip」をダウンロードします。

※保存先は、お好きな場所を指定してください。
※zipファイルを解凍する必要はありません。

> [ストレージサービス連携プラグイン for kintone\(zipファイル\)](#) ZIP

※zipファイルをダウンロードした場合、
「ストレージサービス連携プラグイン for kintone 利用規約」
に同意いただいたとみなします。

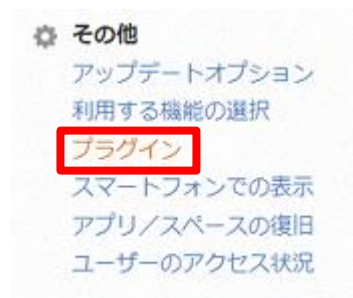
2. プラグイン設定

ストレージサービス連携プラグイン for kintoneのご利用にはプラグイン設定が必要です。
以下の手順でプラグイン設定をします。

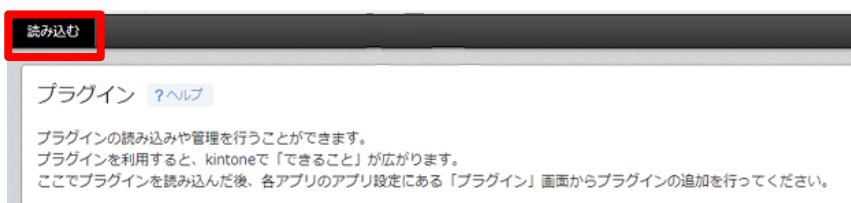
1. kintoneにログインし、[設定アイコン] - [kintoneシステム管理]を選択します。



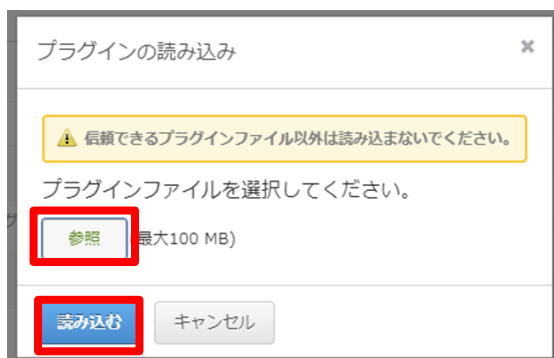
2. その他の[プラグイン]を選択します。



3. 画面左上の[読み込む]を選択します。



4. [参照]を選択し、ダウンロードしたプラグインのファイルを選択し、[読み込む]を選択します。



ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの設定について説明します。

1. [フィールド設定](#)
2. [アプリへのプラグイン追加](#)
3. [契約事業者コードの設定](#)
4. [ストレージ認証](#)
5. [連携するストレージのフォルダ設定](#)
6. [フォルダの自動生成](#)
7. [対応フィールド設定](#)
8. [設定の保存](#)

1. フィールド設定

1. 新規アプリの作成、または既存アプリにてアプリの設定画面を開きます。
2. 必要なフィールドを追加・設定します。

【新規アプリの場合】

【既存アプリの場合】

No	フィールドの種類	備考
①	文字列（1行）	本サービスのフォルダ名を入力するフィールド ※ここに記載された内容で本サービスのフォルダが生成される
②	文字列（1行）	フォルダIDが登録されるフィールド ※アプリ画面では非表示となる
③	スペース	本サービスUIが表示されるエリア

1. フィールド設定

3. 各フィールドで[設定]を選択し、詳細設定を行います。



No	フィールド名	必須項目	重複禁止	最大文字数	フィールドコード
①	フォルダ名 ※任意の名前でも可	☒	☒	64	フォルダ名
②	フォルダID		☒		フォルダID
③					UI

① 文字列（1行）の設定

? ヘルプ

フィールド名 *

フォルダ名

☐ フィールド名を表示しない

☐ 自動計算する ②

☒ 必須項目にする

☒ 値の重複を禁止する

文字数 (整数で指定)

最小 最大

初期値

フィールドコード *

フォルダ名 ☒

キャンセル 保存

② 文字列（1行）の設定

? ヘルプ

フィールド名 *

フォルダID

☐ フィールド名を表示しない

☐ 自動計算する ②

☐ 必須項目にする

☒ 値の重複を禁止する

文字数 (整数で指定)

最小 最大

初期値

フィールドコード *

フォルダID ☒

キャンセル 保存

③

スペースの設定

? ヘルプ

要素ID ②

UI

キャンセル 保存

2. アプリへのプラグイン追加

1. [設定]タブを選択します。



2. [プラグイン]を選択し、プラグイン画面を開きます。



3. [追加する]を選択します。



4. [ストレージサービス連携プラグイン for kintone]を選択し、[追加]を選択します。



3. 契約事業者コードの設定

1. [設定アイコン]を選択し、プラグイン設定画面を開きます。

プラグイン [ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。

[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。

利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管理権限が必要です）。



拡張機能について知る

拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること

拡張機能とは [プラグイン](#)・[関連サービス](#)を探す

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	ストレージサービス連携プラグイン for kintone		必須項目が設定されていません。 kintoneとストレージサービスを連携し、ファイルやフォルダの操作をkintone上から行えるプラグインです。

2. 「①契約事業者コードの設定」の入力欄に「VX4」を入力し、
[事業者コード認証]を選択します。

プラグインの設定

ストレージサービス連携プラグイン for kintone

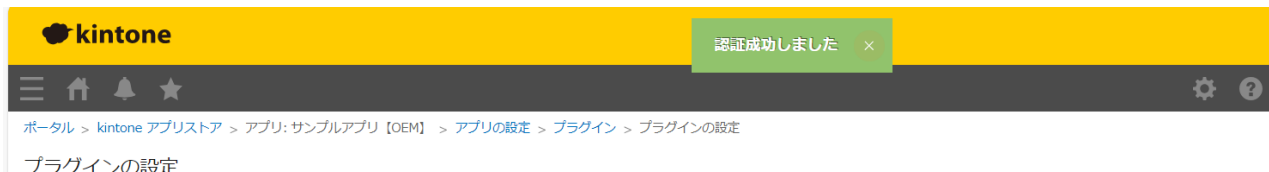


バージョン : 1.0.0

①契約事業者コードの設定 *

事業者コード認証

3. 「認証成功しました」というポップアップが表示されることを確認します。



4. ストレージ認証

1. [ストレージ認証]を選択します。

プラグインの設定

ストレージサービス連携プラグイン for kintone



バージョン : 1.0.0

① 契約事業者コードの設定 *



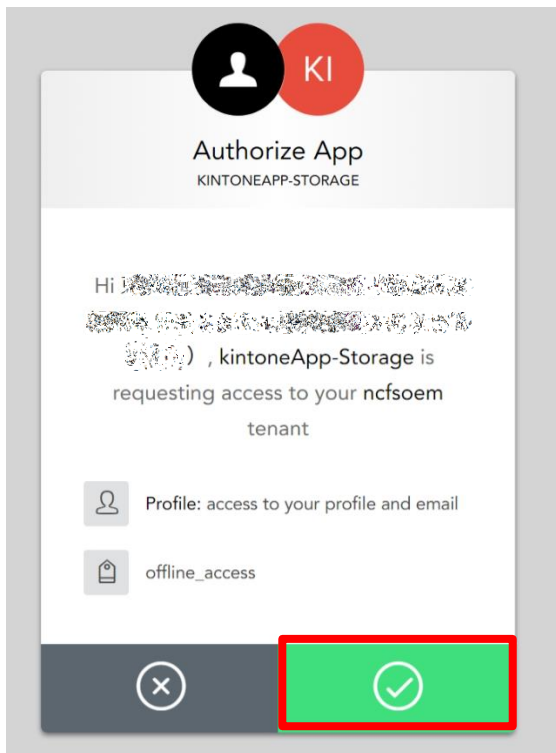
事業者コード認証

事業者名は test です。
お問い合わせ先 : 00-0000-0000

ストレージ認証

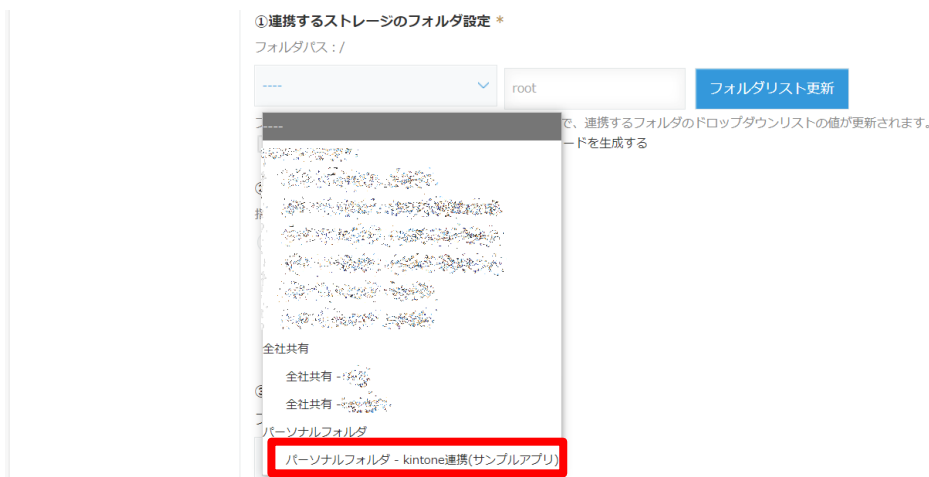
※ログイン画面が表示されるので、設定されているログイン方法でログインしてください。

2. ログイン完了後に表示される同意画面にて[チェックマーク]を選択します。



5. 連携するストレージのフォルダ設定

1. フォルダリストから連携するフォルダを選択します。



ポイント

■選択したフォルダの配下に、kintoneで作成したレコードのフォルダが生成されます。

※例 [全社共有 - kintone連携]を連携するフォルダに設定し、
kintone上で「会社A」「会社B」「会社C」のレコードを作成した場合

全社共有

|_kintone連携

|_会社A

|_会社B

|_会社C

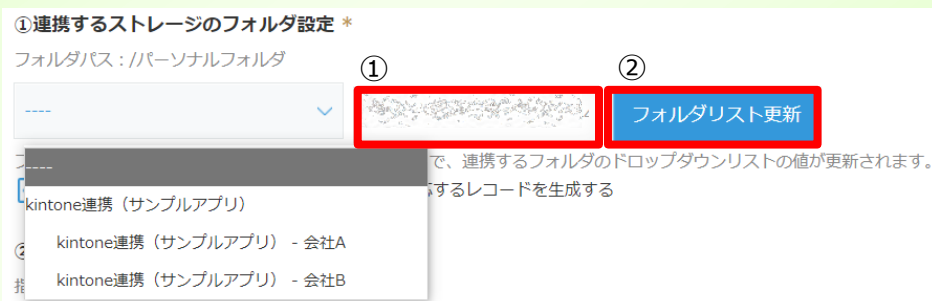
} [全社共有 - kintone連携]配下に、
「会社A」「会社B」「会社C」のフォルダが生成される

■全社共有、パーソナルフォルダ、スマートフォルダ、 また、その配下にある全てのフォルダが選択可能です。

※プロジェクトフォルダは対象外です。

■フォルダIDでフォルダを指定することが可能です。

フォルダIDを入力し、[フォルダリスト更新]を選択すると、
そのフォルダIDとその配下にあるフォルダのリストが表示されます。



5. 連携するストレージのフォルダ設定

2. 選択した連携フォルダの配下に既に存在するフォルダに対して、kintone側にそのフォルダに対応するレコードを生成する場合は、チェック項目を選択してください。

①連携するストレージのフォルダ設定 *

フォルダパス : /

root

フォルダリスト更新

フォルダIDを入力し「フォルダリスト更新」を行うことで、連携するフォルダのドロップダウンリストの値が更新されます。

☒ ストレージに既に存在するフォルダと対応するレコードを生成する

ポイント

このチェック項目を選択するとプラグイン設定を保存した後に、以下のような確認ダイアログが表示されます。

- ・表示されたフォルダをレコードに追加したい場合 : **[登録して保存]**
- ・表示されたフォルダをレコードに追加したくない場合 : **[登録せずに保存]**

を選択してください。

レコード追加確認

?

レコードとして登録されていない以下のフォルダが見つかりました。フォルダに対応するレコードを追加してもよろしいですか？
お客様B

追加する

追加しない

キャンセル

※本サービスと対応するレコードを追加したい際に、アプリにフォルダ名を入れるフィールドとは別に**必須フィールド**がある場合は以下のようなエラーが表示されるため、レコードの追加はできません。必須フィールドを削除した状態で、再度設定を行ってください。

利用中のアプリに入力必須項目があります。連携するストレージに既に登録されているフォルダに対応するフィールドの生成は利用できません。

6. フォルダの自動生成

レコードを追加した際に、自動的にフォルダを追加する方法を説明します。

1. 自動生成テンプレートの登録の[Yes]を選択します。
2. 自動で追加したいフォルダの名前を入力します。

②フォルダ自動生成テンプレートの登録 *

指定したフォルダ構成を自動作成する

☒ Yes ☐ No

フォルダ名

契約書

+

-

請求書

+

-



参考情報

- ・[+]ボタンを選択するとフォルダの項目数が増えます。
- ・[-]ボタンを選択するとフォルダの項目が削除されます。

※テンプレートを登録すると、レコード作成時に自動的に設定したフォルダが作成されます。

フォルダ名

担当者A

/ 担当者A

表示数: 3 5 10 表示切替

1 - 2(2件中) 4 前 次 9

契約書

保存日: 2024/09/13 10:49:18 / 作成日: 2024/09/13 10:49:17 / 更新日: 2024/09/13 10:49:17 /

請求書

保存日: 2024/09/13 10:49:18 / 作成日: 2024/09/13 10:49:17 / 更新日: 2024/09/13 10:49:17 /

4 前 次 9

7. 対応フィールド設定

【1. フィールド設定】にて追加した3つのフィールドを対応付けします。

1. 「フォルダ名」に対応するフィールドとして、[フォルダ名]を選択します。

③各種連携情報の対応フィールド設定 *

フォルダ名の対応フィールド *

フォルダ名 ▼

フォルダ名

フォルダID

UIを表示するスペースID

2. 「フォルダID」の保存先として、[フォルダID]を選択します。

フォルダIDの保存先 *

フォルダID ▼

フォルダ名

フォルダID

UIを表示するスペースID

3. 「UI」を表示するスペースIDとして、[UI]を選択します。

UIを表示するスペースID *

UI ▼

UI

フォルダ名

フォルダID

8. 設定の保存

1. 全ての項目が設定が完了したら、[保存する]を選択します。

① 契約事業者コードの設定 *

事業者コード認証

事業者名は test です。
お問い合わせ先 : 00-0000-0000

ストレージ認証

② 連携するストレージのフォルダ設定 *

フォルダパス : /

フォルダID: root

フォルダリスト更新

フォルダIDを入力し「フォルダリスト更新」を行うことで、連携するフォルダのドロップダウンリストの値が更新されます。
☐ ストレージに既に存在するフォルダと対応するレコードを生成する

③ フォルダ自動生成テンプレートの登録 *

指定したフォルダ構成を自動作成する

☐ Yes ☒ No

フォルダ名

④ 各種連携情報の対応フィールド設定 *

フォルダ名の対応フィールド *

フォルダ名

フォルダIDの保存先 *

フォルダID

UIを表示するスペースID *

UI

保存する キャンセル

2. アプリの設定へ戻り、[アプリを更新]を選択します。

OEMプラグイン動作確認 > アプリの設定

反映前の変更があります 変更した設定をアプリに反映するには、[アプリを更新]ボタンをクリックします (ヘルプ)。

OEMプラグイン動作確認

アプリ作成ガイド 変更を中止 **アプリを更新**



参考情報

- 既存アプリに本プラグインを設定した場合、既にkintone側にあるレコードについては対象レコードを**レコード詳細画面で表示**した際にストレージ側へ反映されます。操作の詳細は、「[レコード詳細の表示](#)」を参照ください。

※iOS、Macで本プラグインを利用する場合、以下設定変更が必要となります。

【iOSを利用する場合】

1. ホーム画面から [設定]  を選択します。
2. 本プラグインを利用するブラウザを選択します。
3. ※Safariの場合
「サイト越えトラッキングを防ぐ」が緑色（有効）の場合は、スライダを選択し白色（無効）にします。

※Firefox、Chromeの場合

「Webサイト越えトラッキングを許可」が白色（無効）の場合は、スライダを選択し緑色（有効）にします。

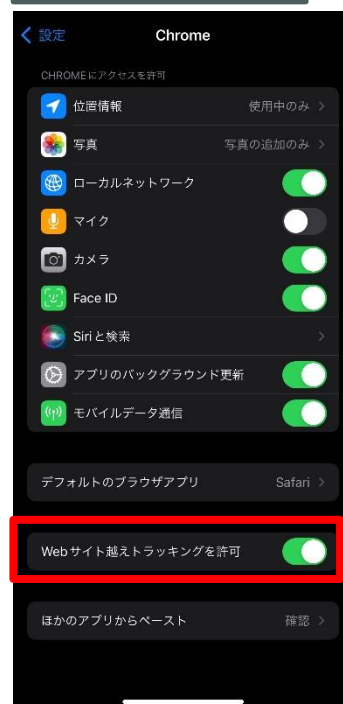
Safariの場合



Firefoxの場合



Chromeの場合



【Macを利用する場合】

1. MacでSafariアプリ  に移動します。
2. 「Safari」>「設定」と選択してから、「プライバシー」をクリックします。
3. 「サイト越えトラッキングを防ぐ」を解除します。

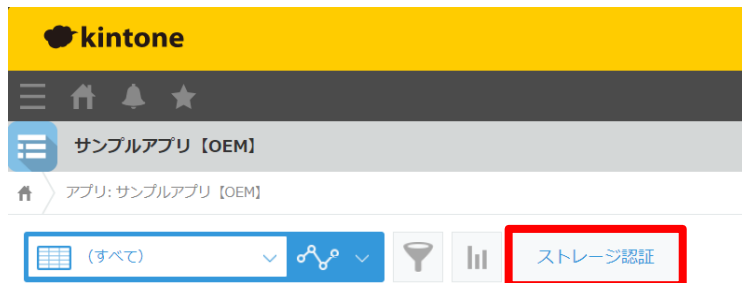


ストレージサービス連携プラグイン for kintoneの各種操作について説明します。

1. [ストレージ認証](#)
2. [レコードの作成](#)
3. [レコードの編集](#)
4. [レコードの削除](#)
5. [レコード詳細の表示](#)
6. [ファイル・フォルダ操作](#)
 - ① [アップロード](#)
 - ② [フォルダ作成](#)
 - ③ [名前の変更](#)
 - ④ [削除](#)
 - ⑤ [移動](#)
 - ⑥ [プレビュー](#)
 - ⑦ [ストレージで開く](#)

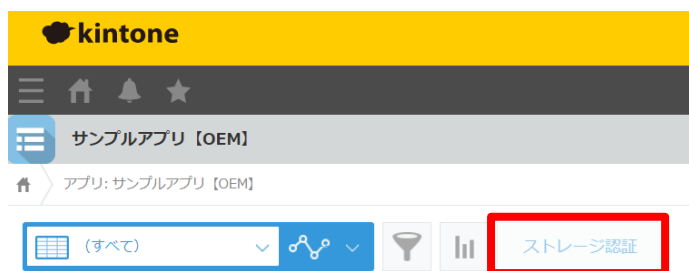
1. ストレージ認証

1. [ストレージ認証]を選択します。



※設定されているログイン方法でログインしてください。

※認証が通ると[ストレージ認証]ボタンが非活性となります。



参考情報

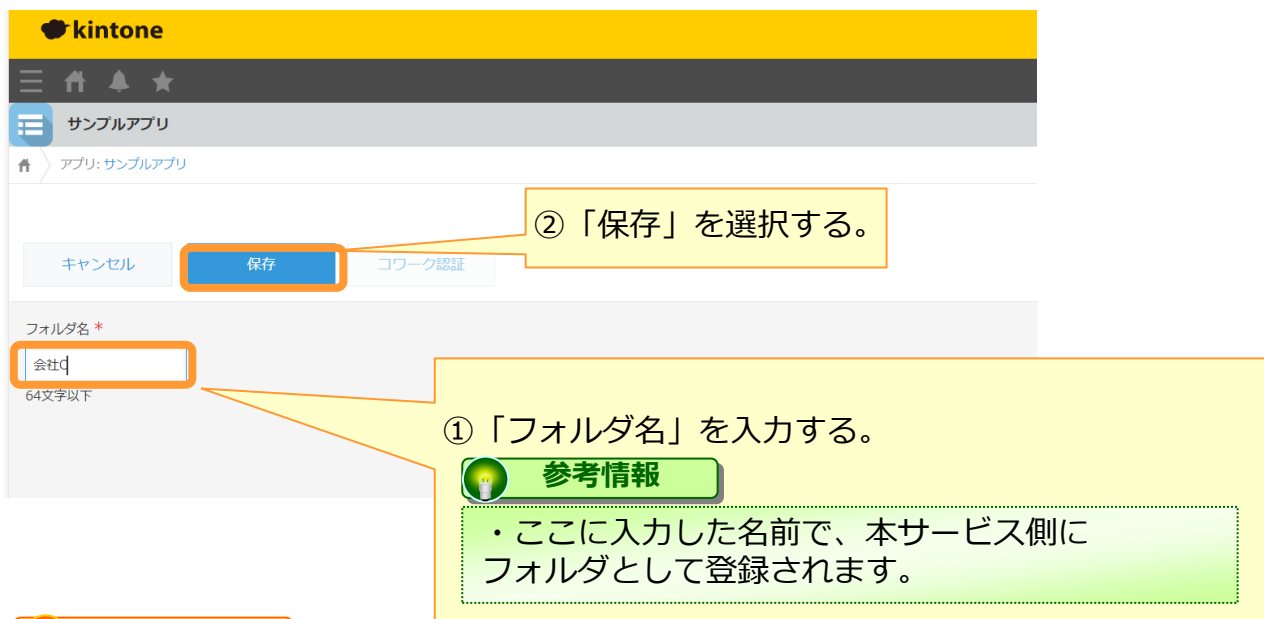
他の画面で表示される[ストレージ認証]も
同じ操作、同じ表示方法です。

2. レコードの作成

1. レコード一覧画面で、[+]を選択します。



2. レコード作成画面で必要な情報を入力し、保存します。



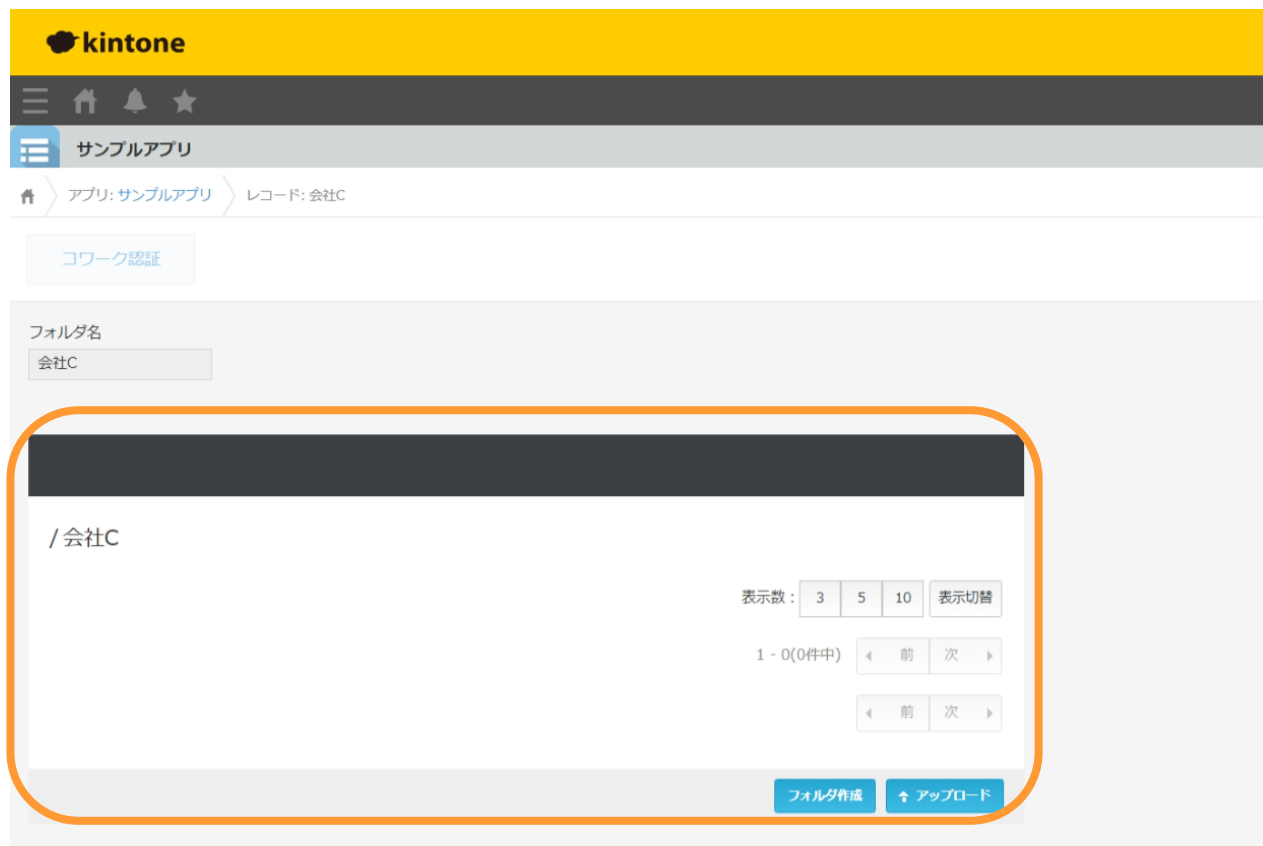
！ ここに注意

- ・フォルダ名として登録できる利用文字制限は本サービスの仕様と同様です。
※本サービスの仕様は、利用マニュアル【サービス概要編】の「8. 仕様・制限事項」-「ファイル名・フォルダ名の利用文字制限」をご確認ください。
- ・他にフィールドがある場合には、必要に応じて登録してください。

2. レコードの作成

3. レコード詳細画面が表示され、作成したレコードに対応する本サービスのフォルダがUIエリアに表示されます。

※UIエリアの操作は「[6. ファイル操作](#)」を参照ください。



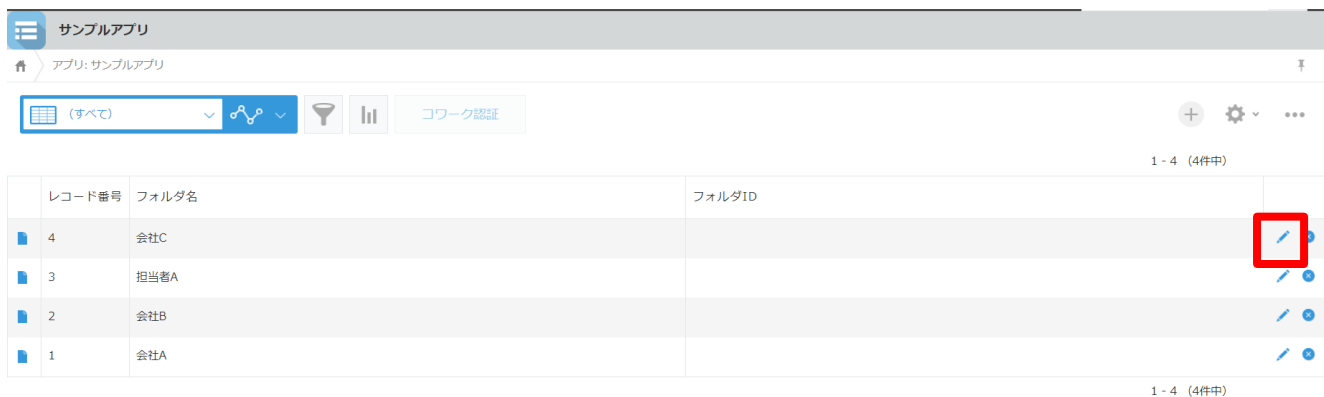
※本サービス側にも対応するフォルダが自動的に作成されます。



3. レコードの編集

【レコード一覧画面で編集する場合】

1. レコード一覧画面で、編集したいレコードの[編集アイコン]を選択します。



2. 変更したい項目を入力し、[保存する]を選択します。



3. ストレージのフォルダ名を更新するか確認ダイアログが表示されます。

更新する場合：[保存]

更新しない場合：[キャンセル]



3. レコードの編集

4. 編集した内容で更新されます。

サンプルアプリ

アプリ: サンプルアプリ

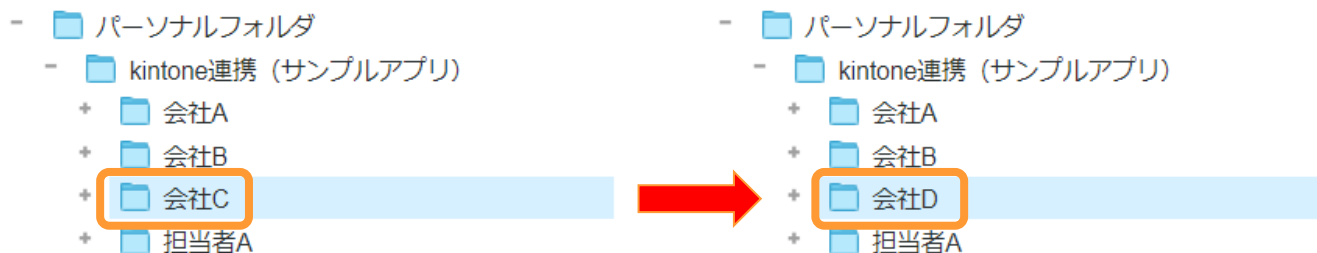
(すべて) コワーク認証

1 - 4 (4件中)

レコード番号	フォルダ名	フォルダID
4	会社D	
3	担当者A	
2	会社B	
1	会社A	

1 - 4 (4件中)

※本サービスのフォルダ名を更新するかのメッセージで[保存]を選択すると本サービスのフォルダ名も更新されます。



3. レコードの編集

【レコード編集画面で編集する場合】

1. レコード一覧画面で、編集したいレコードの[詳細表示アイコン]を選択します。

レコード番号	フォルダ名	フォルダID
4	会社C	
3	担当者A	
2	会社B	
1	会社A	

2. レコード詳細画面で、[編集アイコン]を選択します。

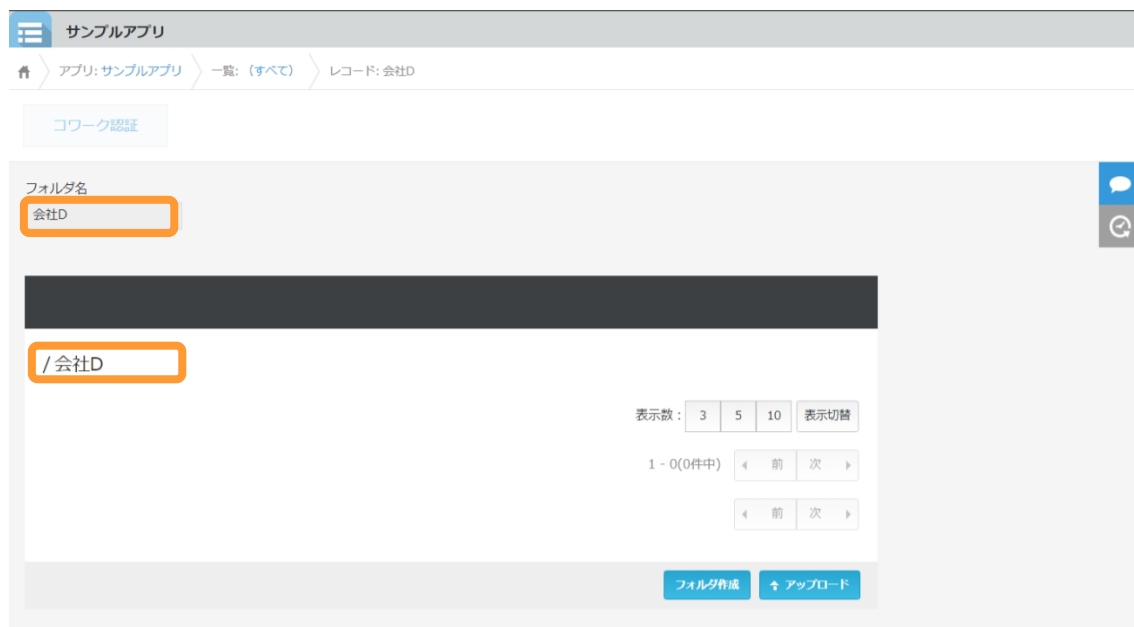
3. 変更したい項目を入力し、[保存]を選択します。

3. レコードの編集

4. 本サービスのフォルダ名を更新するかのメッセージが表示されます。
更新する場合：[保存]
更新しない場合：[キャンセル]



5. 編集した内容で更新されます。
※本サービスのフォルダ名を更新するかのメッセージで[保存]を選択すると UIに表示される本サービスのフォルダ名も更新されます。



- ※UIエリアでのファイル・フォルダ操作も可能です。
操作の詳細は、「[6. ファイル・フォルダ操作](#)」を参照ください。

4. レコードの削除

1. レコード一覧画面で、削除したいレコードの[削除アイコン]を選択します。

サンプルアプリ

アプリ: サンプルアプリ

(すべて) [リンク] [フィルタ] [グラフ] [ワークフロー]

1 - 4 (4件中)

レコード番号	フォルダ名	フォルダID	
4	会社D		
3	担当者A		
2	会社B		
1	会社A		

1 - 4 (4件中)

2. 表示された確認ダイアログにて[削除する]を選択します。

削除します。よろしいですか?

キャンセル 削除する

3. 削除するレコードと連携している本サービスのフォルダを削除するかの確認ダイアログが表示されます。
 削除する場合：[削除]
 削除しない場合：[キャンセル]

このレコードと連携しているストレージのフォルダを削除しますか?

キャンセル 削除

4. レコードの削除

3. 対象のレコードが削除されます。

サンプルアプリ

アプリ: サンプルアプリ

(すべて) [アイコン] [アイコン] [アイコン] [アイコン] [ワークフロー]

1 - 3 (3件中)

	レコード番号	フォルダ名	フォルダID	
	3	担当者A		[編集] [削除]
	2	会社B		[編集] [削除]
	1	会社A		[編集] [削除]

1 - 3 (3件中)

※本サービスからも対象のフォルダは削除されます。



！ ここに注意

- ・削除したレコードを元に戻し、再度本サービスと連携したい場合は、以下操作を行ってください。
※kintone側に保存されていたフィールドの登録内容は復活できません。

1. 本サービス側でゴミ箱から「元のフォルダ」に戻します。
 ※本サービスの操作は、利用マニュアル【操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」】の「8. ゴミ箱」を参照ください。
2. プラグイン設定画面を開き、「連携するストレージのフォルダ設定」のレコード生成にチェックを付ける。
 ※既にチェックが付いている場合はそのまま

①連携するストレージのフォルダ設定 *

フォルダパス: /

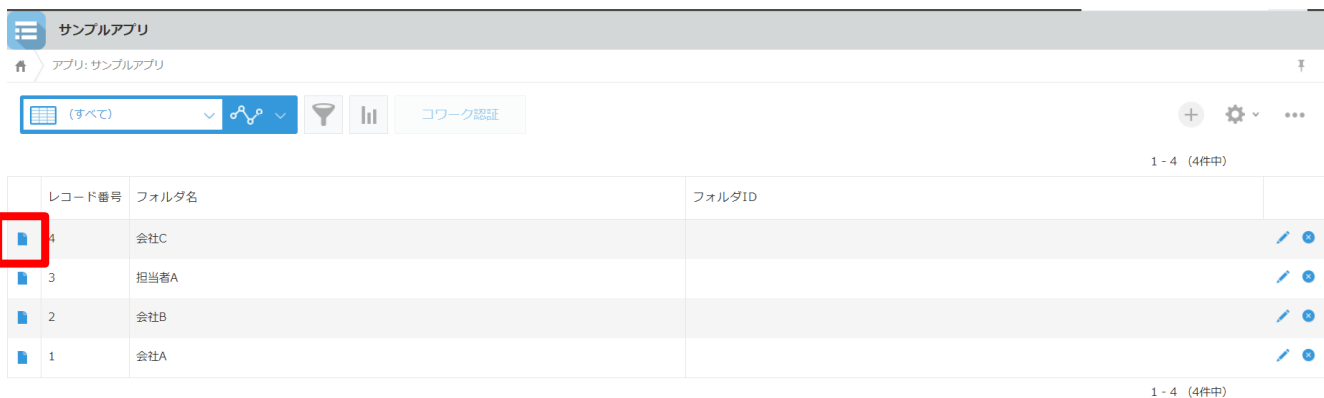
フォルダIDを入力し「フォルダリスト更新」を行うことで、連携するフォルダのドロップダウンリストの値が更新されます。

☒ ストレージに既に存在するフォルダと対応するレコードを生成する

3. 保存後に表示されるモーダルにて[追加する]を選択する。
4. レコード一覧画面に、削除したレコードが再度表示される。

5. レコード詳細の表示

1. レコード一覧画面で、詳細表示したいレコードの[詳細表示アイコン]を選択します。



2. レコード詳細画面が表示されます。



※UIエリアでのファイル・フォルダ操作も可能です。
 操作の詳細は、「[6. ファイル・フォルダ操作](#)」を参照ください。

5. レコード詳細の表示

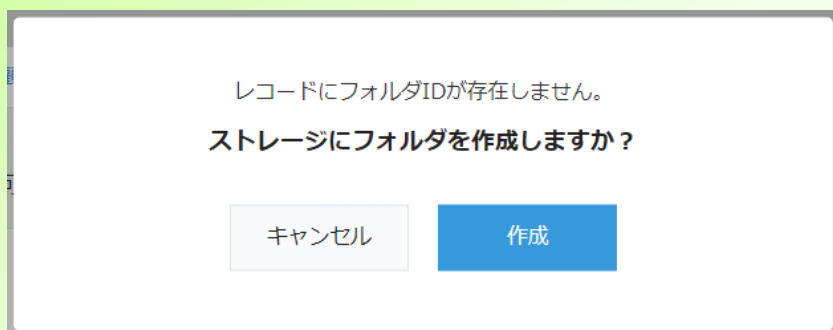


参考情報

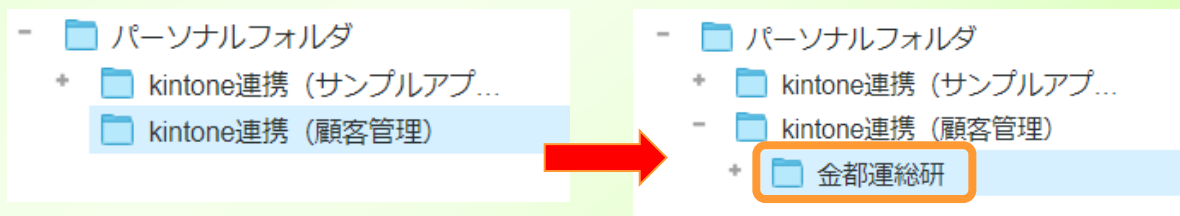
プラグインを設定する前に作成されたレコードがある場合、以下確認ダイアログが表示されます。

- ・本サービスと連携するフォルダを作成したい場合：**[作成]**
- ・本サービスと連携するフォルダを作成しない場合：**[キャンセル]**

を選択してください。



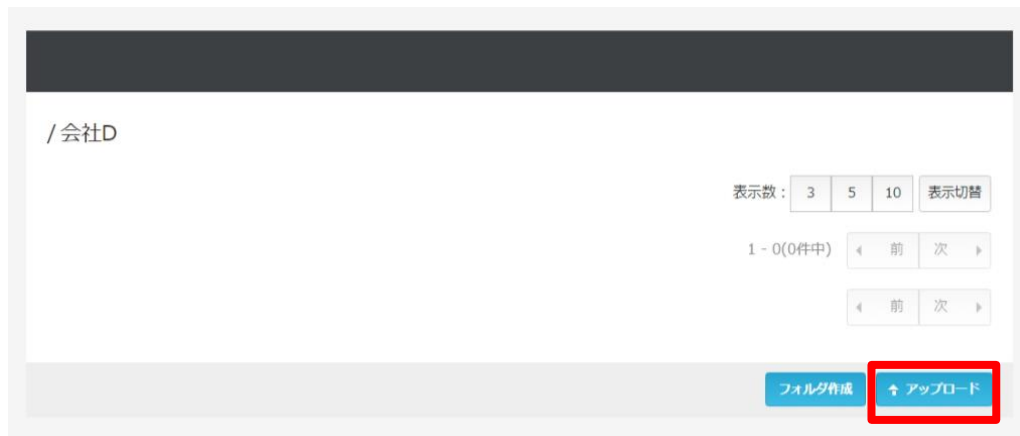
※[作成]を選択すると、本サービス側にレコードと対応するフォルダが作成されます。



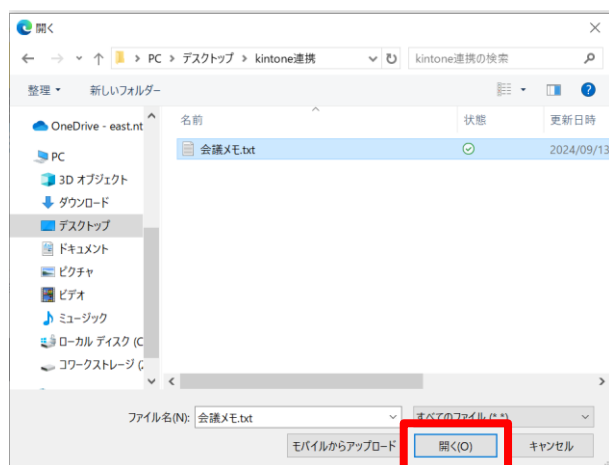
6. ファイル・フォルダ操作

① アップロード

1. UIエリアにて[アップロード]を選択します。



2. 表示されたエクスプローラーにて、アップロードしたいファイルを選択します。



3. ファイルがアップロードされます。



6. ファイル・フォルダ操作

! ここに注意

- ・ kintone上から本サービスへアップロードできるサイズは最大**200MB**です。
 - ・ 200MB以上(10GBまで)のファイルをアップロードしたい場合は、以下の操作を行ってください。
1. 200MB以上のをアップロードすると、以下メッセージが表示されます。このメッセージ内の[こちら]を選択します。



2. アップロード先の対象フォルダを本サービスの画面側で表示されるので、本サービスの画面上からアップロードを行ってください。



※10GB以上のファイルは本サービス上でもアップロードできません。

6. ファイル・フォルダ操作

②フォルダ作成

1. UIエリアにて[フォルダ作成]を選択します。



2. 作成するフォルダ名を入力し、作成します。



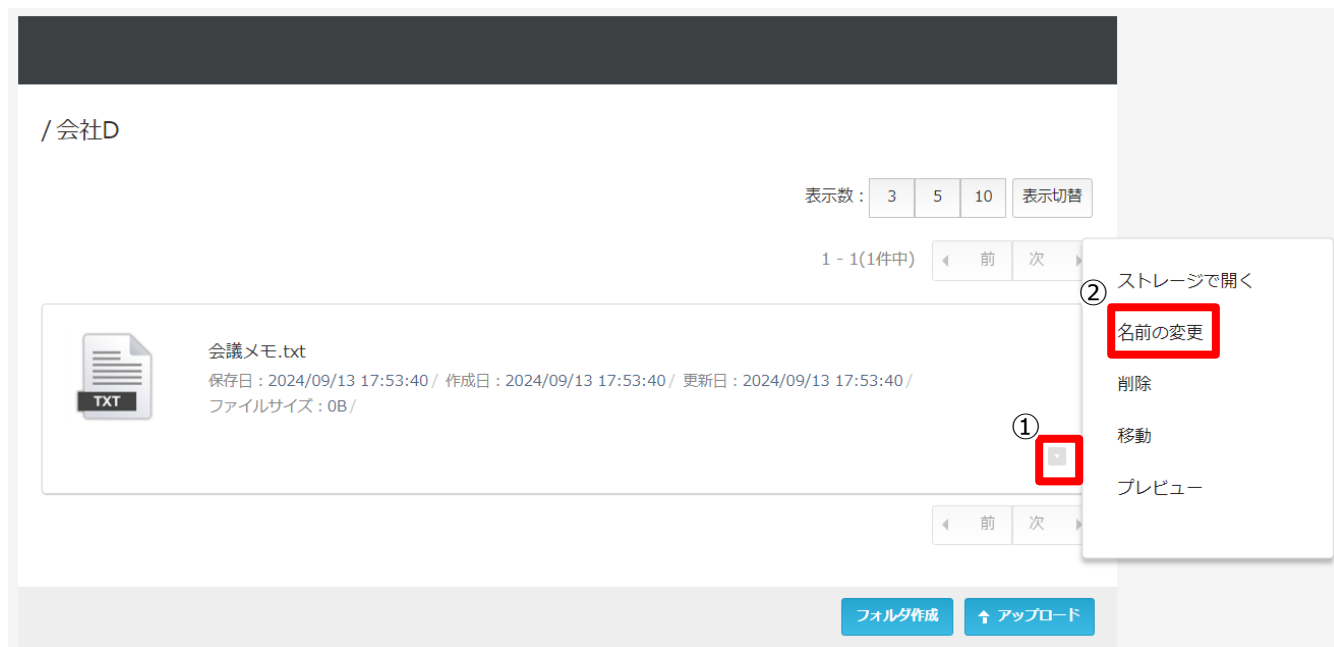
3. 作成したフォルダが表示されます。



6. ファイル・フォルダ操作

③名前の変更

1. UIエリアにて、名前の変更を行いたいファイル・フォルダの[メニューボタン] - [名前の変更]を選択します。



2. 表示された確認ダイアログにて、変更したい名前を入力し、保存してください。



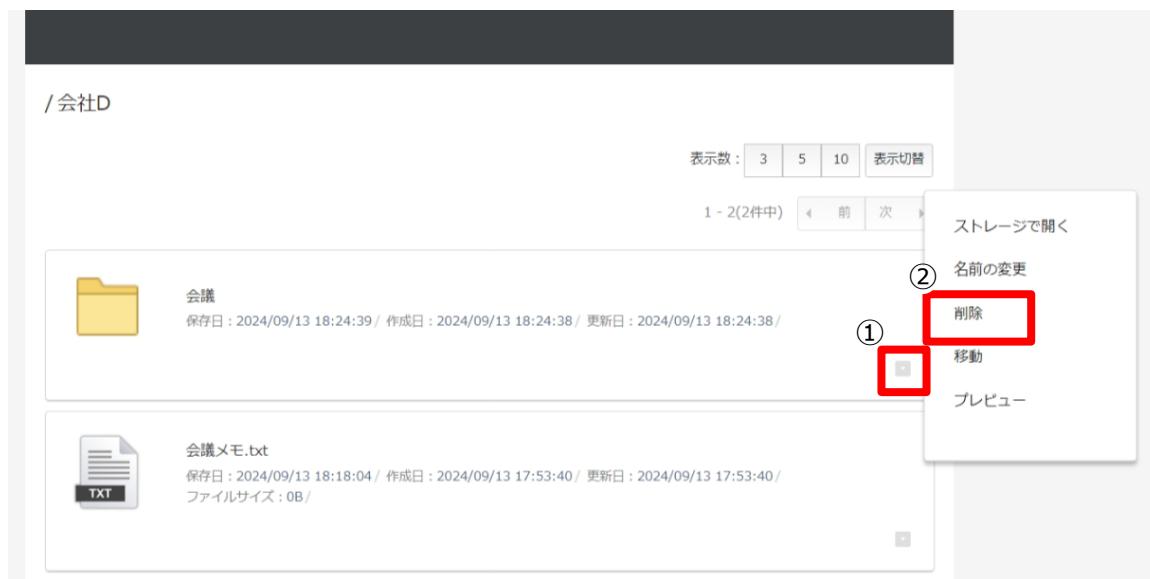
3. ファイル・フォルダの名前が変更されます。



6. ファイル・フォルダ操作

④削除

1. UIエリアにて、削除を行いたいファイル・フォルダの[メニューボタン] - [削除]を選択します。



2. 表示された確認ダイアログにて、[削除]を選択します。



参考情報

削除したファイル・フォルダを復元する場合は
利用マニュアル「8. ゴミ箱」を参照ください。
[【操作編（一般ユーザ）「Webブラウザ」】](#)

3. 対象のファイル・フォルダが削除されます。



6. ファイル・フォルダ操作

⑤移動

1. UIエリアにて、移動を行いたいファイル・フォルダの[メニューボタン] - [移動]を選択します。



2. 移動先のフォルダを選択して、保存します。



! ここに注意

移動先のフォルダとして選択可能なのは、プラグイン設定画面にて「連携するストレージのフォルダ」として設定したフォルダ配下にあるフォルダのみです。

3. 指定した移動先にファイル・フォルダが移動します。



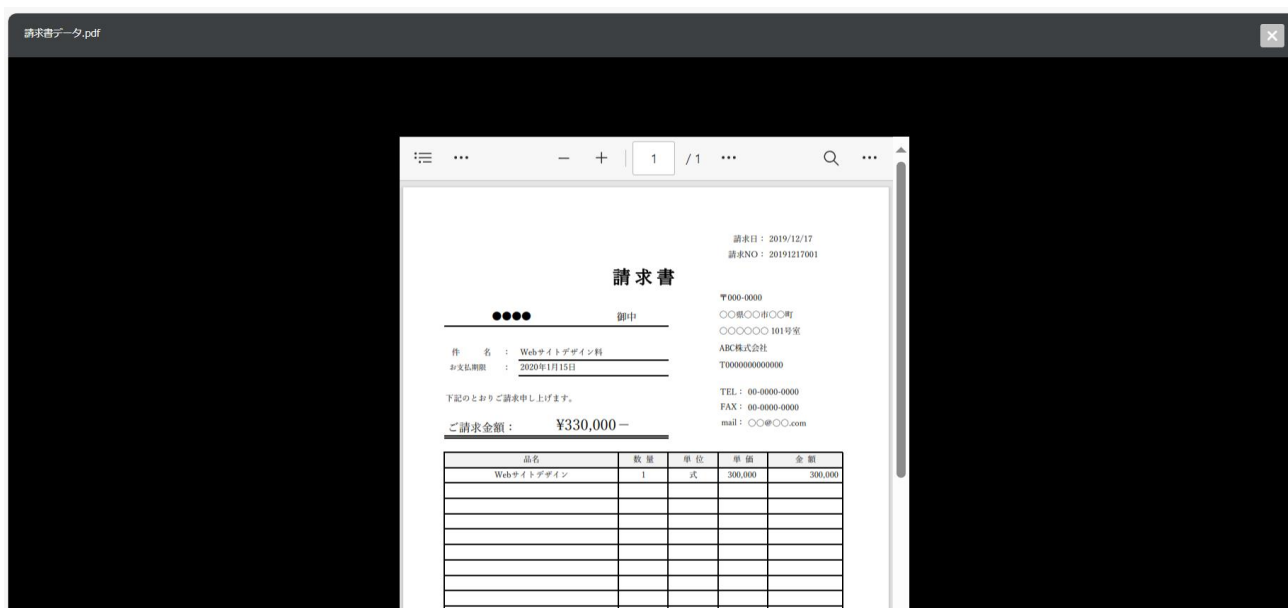
6. ファイル・フォルダ操作

⑥プレビュー

1. UIエリアにて、プレビューしたいファイルの
[メニューボタン] - [プレビュー]を選択します。



2. 対象ファイルのプレビューが表示されます。



参考情報

- ・プレビュー可能なファイル形式は、利用マニュアル【操作編（一般ユーザ）
[Webブラウザ]】「11. Webのよくある質問」の「5. その他」をご確認ください

※Microsoft Office形式のファイルについてはkintone上からはプレビュー不可のため
おまかせクラウドストレージ上でプレビューを実施してください。

6. ファイル・フォルダ操作

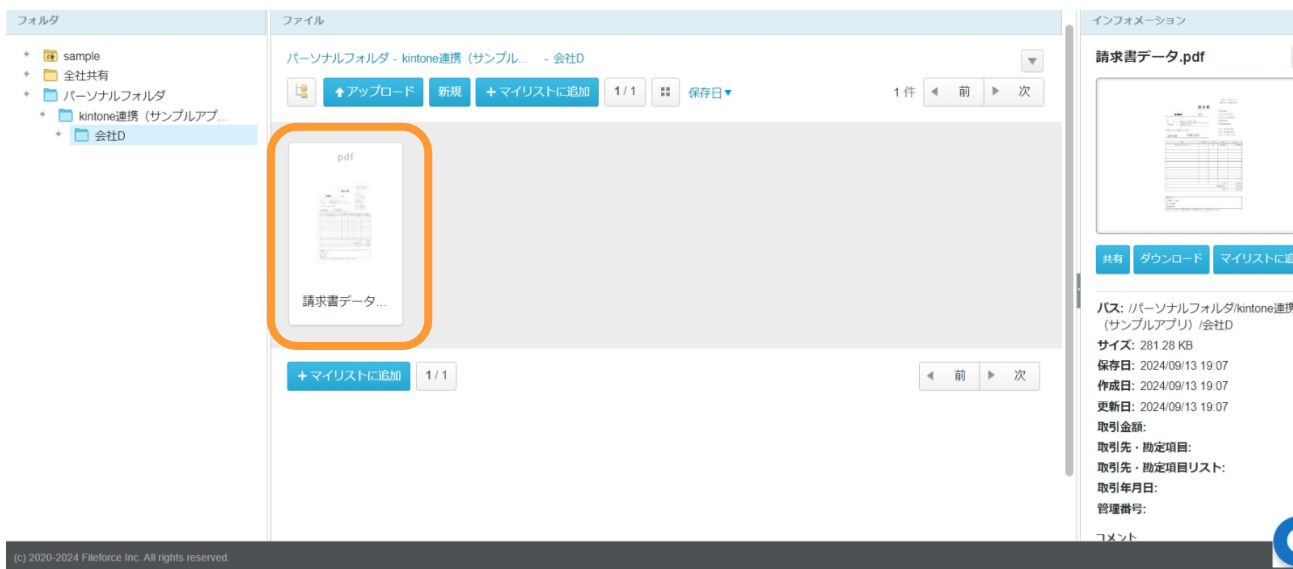
⑦ストレージで開く

ダウンロード、ファイルの編集、共有リンクの発行など、kintone上で実施できない操作を行う場合の操作について説明します。

1. UIエリアにて、ストレージで開きたいファイル・フォルダの[メニューボタン] - [ストレージで開く]を選択します。



2. 対象ファイルがストレージ側で表示されます。



参考情報

- ・『各ファイル・フォルダ操作については、利用マニュアル【操作編（一般ユーザ）[Webブラウザ]】を参照ください。